平成27年度版 秋田市環境基本計画年次報告書(26年度の状況)

平成27年10月 秋 田 市

本報告書は、秋田市環境基本条例(平成11年秋田市条例第15号)第10条の規定に基づき、本市の環境の状況、市が講じた環境施策の実施状況等を明らかにするため、作成したものです。

平成27年10月秋田市環境部環境総務課

目		次																																			
環	境	基	本	計	画	数	値	目	標	の	達	成	状	況	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
主	な	取	組	の	状	況	(	平	成	2	6	年	度	)																							
		笜	1	俖		+	与	쁨	台			わ・・・・																						•	•	• 1 1	8 0 1
	第	第第第	1 2 3	節節節		自身自	然近然	環なの	境自公	・然益	· · 的	う・・機的	· · 能	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1 1 1	3 4 5
	第	3 第 第	章 1 2	節節	知	恵廃エ	と棄ネ	工物ル	夫・ギ	で・	•	限 • 水	り ・ 資	あ ・ 源	る・・	資 •	源 •	논 •	工 •	ネ・・	ル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ギ・・	•	を・・	大 ·	切 ·	に・・・	し •	ま・・	す・・・	•	•	•	•	•	2 2	4 7
	第	4 第 第	章 1 2	節節	世	代環環	や境境	地保配	域全慮	を活対	越動策	え・・	て・・	と •	<b>t</b> .	に・・	語 •	\$·•	۲\ :	•	環 •	•	わ・・	)	と •	な・・	つ・・	て・・	取 • •	り ・	組 •	み・・	ま・・	す・・・	•	3	0 1
	第	5 第 第	章 1 2	節節	<del></del>	人環地	ひ境球	と教環	り育境	が ・ 問	秋環題	田 境 •	を 学・	知 習 •	り ・	•	地 •	球 •	に・・	学 •	び・・	•	未 ·	来 •	を・・	想 •	い: :	•	行 ·	動 •	し ・	ま・・	す・・		•	3	3 8
別		添		資		料	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		4	1

### 環境基本計画数値目標の達成状況

#### ※評価

- ◎ 【目標達成】目標を達成、維持している。
- ↑【目標未達】前年度比で数値が改善した。
- → 【目標未達】前年度比で数値が横ばいである。
- ↓ 【目標未達】前年度比で数値が悪化した。

#### 第1章 清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかなくらしを守ります

#### 第1節 大気環境

	環境指標	目標値	目標 年度	26年度実績値	評価 (※)	課所室
	二酸化窒素	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間98%値が0.06ppm以下)	32年度	年間98%値 0.016ppm	0	環境保全課
	浮遊粒子状物質	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下)	32年度	年平均值 0.047mg/m <sup>3</sup>	0	環境保全課
	光化学オキシダント	環境基準の達成 (1時間値が0.06ppm以下)	32年度	最高値 0.093ppm 年平均値 0.037ppm	<b></b>	環境保全課
① 大	二酸化いおう	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が0.04ppm以下)	32年度	年間98%値 0.005ppm	0	環境保全課
気汚染	ベンゼン	環境基準の維持達成 (1年平均値が0.003mg/㎡以下)	32年度	年平均值 0.0012mg/m <sup>3</sup>	0	環境保全課
	トリクロロエチレン	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1年平均値が0.02mg/㎡以下)	32年度	年平均值 0.000026mg/m <sup>3</sup>	0	環境保全課
	テトラクロロエチレン	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1年平均値が0.02mg/㎡以下)	32年度	年平均值 0.000033mg/m <sup>3</sup>	0	環境保全課
	ダイオキシン類	環境基準の維持達成 (年間平均値が0.6pg-TEQ/㎡以下)	32年度	年平均值 0.0067pg-TEQ/m³	0	環境保全課

二酸化窒素 (自動車排ガス)	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間98%値が0.06ppm以下)	32年度	年間98%値 0.023ppm	0	環境保全課
一酸化炭素 (自動車排ガス)	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が1ppm以下)	32年度	年平均值 0.5ppm	0	環境保全課
公用車の低公害車導 ×率	平成22年度=181台/343台 → 平成32年度=100%	32年度	198台/334台(59.2%)	1	環境総務課

# 第2節 水環境

	環境指標	目標値	目標 年度	26年度実績値	評価 (※)	課所室
	環境基準健康項目	環境基準の達成 (カドミウム等27項目)	32年度	調査を行った14河川、19か所全てにおいて、環境基準を 達成していた。	0	環境保全課
1	環境基準生活環境項 目	環境基準の達成 (pH等6項目、河川のBODを除く。)	32年度	調査を行った22河川、34か所中、水素イオン濃度が2か 所、溶存酸素量が3か所、大腸菌群数が26か所で環境 基準を達成できなかった。	1	環境保全課
晳	河川のBOD	環境基準からさらに引き下げて設定	32年度	調査を行った21河川、33か所中、3か所で環境基準を達成できなかった。	$\rightarrow$	環境保全課
(汚濁	ダイオキシン類	環境基準の維持達成 (1pg-TEQ/L以下)	32年度	調査を行った河川2か所、海域1か所において、環境基準を達成していた。 河川 最低値 0.11pg-TEQ/L 最高値 0.29pg-TEQ/L 平均値 0.20pg-TEQ/L 海域 平均値 0.04pg-TEQ/L	0	環境保全課
2	地下水	環境基準の達成	27年度	平成元年度から、市域を1kmメッシュで区切り、5年間で一巡する地下水質測定計画を定め、地下水質調査を行っている。26年度は、市内21か所の井戸で調査を行い、1つの井戸で硝酸性窒素および亜硝酸性窒素が環境基準を達成できなかった。	<b>→</b>	環境保全課

③ 汚水の処理率	平成22年度=95.5% → 平成30年度=97.0%	30年度	97.5%	0	上下水道局 総務課
④ 水質汚濁事故	平成17年度=41件 → 平成27年度=半減	27年度	事故件数 30件	$\rightarrow$	環境保全課

# 第3節 生活環境

環境指標	目標値	目標 年度	26年度実績値	評価 (※)	課所室
① 一般環境騒音	環境基準の維持達成 (平成22年度=100% → 平成32年度=100%)	32年度	市内の一般環境における昼間および夜間の騒音調査を 市内5か所で行った結果、全ての時間区分で環境基準を 達成していた。 一般環境騒音調査 5か所24時間連続 環境基準適合率 昼100% 夜100%	0	環境保全課
② 道路交通振動	要請限度以下のレベルを維持達成 (平成22年度=100% → 平成32年度=100%)	32年度	市内の主要幹線道路沿いの10か所で、昼間および夜間 の交通振動調査を行った結果、全箇所、全ての時間帯で 要請限度を下回っており、人体に感じないレベルであっ た。	0	環境保全課
③ 悪臭	苦情件数の低減 (平成17年度=19件 → 平成32年度=件数半減)	32年度	苦情件数 27件	1	環境保全課
④ 土壌の重金属	環境基準の維持達成 (平成22年度=100% → 平成32年度=100%)	32年度	該当事業なし	_	環境保全課

(5)	土壌のダイオキシン類	環境基準の維持達成 (平成22年度=100% → 平成32年度=100%)	32年度	土壌に係るダイオキシン類の調査を、市内の公共用地を中心とした一般環境3か所、発生源周辺3か所で行った結果、全てで環境基準を達成していた。 一般環境 最低値 0.0098pg-TEQ/g 最高値 0.018pg-TEQ/g 平均値 0.014pg-TEQ/g 発生源周辺 最低値 0.94pg-TEQ/g 最高値 4.1pg-TEQ/g 平均値 2.5pg-TEQ/g	0	環境保全課
-----	------------	---------------------------------------------	------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	-------

# 第2章 多様な自然をとうとび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます

### 第1節 自然環境

環境指標	目標値	目標 年度	26年度実績値	評価 (※)	課所室
市域の緑地等の割合	平成19年度=83.8% → 平成32年度=83.6% → 平成42年度=83.5%	42年度	82.9%(H25.10.1現在)	<b>→</b>	都市計画課

### 第2節 身近な自然

環境指標	目標値	目標 年度	26年度実績値	評価 (※)	課所室
① 市街化区域内における緑地面積	平成19年度=1,837ha → 平成29年度=1,877ha	29年度	1,847ha	<b>†</b>	公園課
② 市街化区域内におけ る幹線市道の街路樹整 備率	平成17年度=ほぼ100% → 平成27年度=100%	27年度	100%	0	道路維持課

# 第3節 自然の公益的機能

環境指標	目標値	目標 年度	26年度実績値	評価 (※)	課所室
① 市面積に占める森林 面積の割合	平成21年度=68.0% → 平成32年度=69.0%	32年度	67.8%	$\rightarrow$	農林総務課
② 間伐実施面積	平成21年度=2,591ha → 平成27年度=7,870ha	27年度	9,076ha	0	農林総務課
③ 間伐実施による二酸 化炭素吸収量	平成21年度=8,370t → 平成27年度=58,454t	27年度	86,222t	0	農林総務課
④ バイオエタノールの製 造原料としてのもみがら の利用	平成21年度=Ot → 平成27年度=2,250t	27年度	該当事業なし	_	農林総務課
<ul><li>⑤ 市面積に占める農用</li><li>地面積の割合</li></ul>	平成21年度=10.6% → 平成32年度=10.6%	32年度	10.6%	0	農林総務課
⑥ 海辺の保全のための ボランティア清掃に係る 支援件数	平成22年度=31件 → 平成32年度=45件以上	32年度	23件 天候に左右されやすいため、支援件数に影響が生ずる。 本市としては、ボランティア団体等からの支援要請があれば、積極的に収集等の支援を実施する。		環境都市 推進課

# 第4節 歴史的・文化的環境

環境指標	目標値	目標 年度	26年度実績値	評価 (※)	課所室
市の歴史的、文化的施設 への入場者数	平成22年度=553,049人 → 平成27年度=725,000人	27年度	556,809人	1	文化振興室

### 第3章 知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします

# 第1節 廃棄物

環境指標	目標値	目標 年度	26年度実績値	評価 (※)	課所室
① 市民一人あたりの家庭 系ごみの排出量 (資源化物を除く。)	平成11年度=618g/人·日 → 平成24年度=10%以上削減、556g/人·日以 下	24年度	529g/人·日	0	環境都市 推進課
② 事業系ごみの排出量 (資源化物を除く一般廃 棄物)	平成11年度=49,138t/年 → 平成24年度=15%以上削減、41,767t/年以下	24年度	45,904t	$\rightarrow$	環境都市 推進課
③ 一般廃棄物のリサイクル率	平成11年度=23.6% → 平成27年度=38%以上	27年度	30.0%	<b>↓</b>	環境都市 推進課
④ 最終処分場への埋立 量	平成11年度=20,798t → 平成27年度=90%以上削減、2,079t以下	27年度	3,602t	$\rightarrow$	環境都市 推進課

# 第2節 エネルギー・水資源

環境指標	目標値	目標 年度	26年度実績値	評価 (※)	課所室
① 市民一人あたりの家 庭系の電力使用量(電 灯需要)	平成21年度=2,151kWh/年·人 → 平成32年度=10%減、1,935kWh/年·人	32年度	2,197kWh/年·人(平成25年度末現在)	1	環境総務課
② 市内での都市ガス使 用総量	平成21年度=40,235千㎡/年 → 平成32年度=10%減、36,211千㎡/年	32年度	43,190千㎡/年(平成25年度末現在)	1	環境総務課
③ 水道施設の整備(有 効率の向上)	平成22年度=92.4% → 平成28年度=95%以上	28年度	94.6%	1	上下水道局 総務課

④ 省エネルギー住宅比 率		32年度	71%	0	住宅整備課
------------------	--	------	-----	---	-------

### 第4章 世代や地域を越えてともに語らい、環(わ)となって取り組みます

#### 第1節 環境保全活動

環境指標	目標値	目標 年度	26年度実績値	評価 (※)	課所室
市で認定した自然環境保 全活動を行っている団体	平成17年度=3団体 → 平成27年度=5団体	27年度	5団体	0	環境総務課

#### 第5章 一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します

#### 第1節 環境教育・環境学習

環境指標	目標値	目標 年度	26年度実績値	評価 (※)	課所室
	平成17年度=40クラブ、987名 → 平成27年度=40クラブ、1,000名以上	27年度	40クラブ、1,272名	0	環境総務課
② 出前講座の開催回数 と受講者数	平成22年度=41回、1,908名 → 平成32年度=45回、1,800名	32年度	59回、2,808名	0	環境総務課

#### 第2節 地球環境問題

環境指標	目標値	目標 年度	26年度実績値	評価 (※)	課所室
① 市域の温室効果ガス 排出量	平成2年度=2,936千t-CO <sub>2</sub> → 平成32年度=平成2年度比10%減	32年度	平成23年度(統計上の最新値)=3,495千t-CO <sub>2</sub> (平成2年度比19%増、平成22年度比11.3%増)	1	環境総務課
② 秋田市役所の温室効 果ガス排出量	平成24年度=129,803t-CO <sub>2</sub> → 平成28年度=平成24年度比4%減	28年度	123,741t-CO <sub>2</sub> (平成24年度比4.7%減)	0	環境総務課

# 主な取組の状況(平成26年度)

第1章 清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかなくらしを守ります

#### 第1節 大気環境

#### (1) 大気環境の監視体制の整備等

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 大気·水質等環境保 全事業	・市内9か所の一般環境大気測定局で大気汚染物質の常時監視を行った結果、光化学オキシダントおよび微小粒子状物質を除く5項目(二酸化いおう、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、一酸化炭素、炭化水素)で、大気環境基準又は指針値を達成していた。 ・測定機器の更新(上新城局、将軍野局および仁井田局の硫黄酸化物・浮遊粒子状物質計、仁井田局の風向風速計)を行った。	環境保全課
② ダイオキシン類等対策事業	・大気2か所(年4回)、河川の水質と底質2か所、海域の水質と底質1か所、地下水1か所、土壌6か所で調査を行った。いずれも環境基準を 達成していた。 ・ダイオキシン類対策特別措置法に係る特定施設を設置している3工場・事業所を立入検査し、ダイオキシン類の測定を行った結果、全ての 施設の各項目において、排出(処理)基準に適合していた。	

#### (2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	26年	度の取組実績	担当課所室	
① 大気·水質等環境保全事業	公害関係法令等に基づき届出の審査、立入検査および指導を行い、規制基準の遵守を徹底させた。 ・法対象施設の立入調査 14工場・事業場 ・特定粉じんの立入調査 11工場・事業場			
	公害関係法令等に基づく届出 大気汚染防止法 秋田県公	<b>冷害防止条例</b>		
	特定粉じん排出等作業実施届出 11件	_	環境保全課	
	ばい煙発生施設の設置届出 11件	3件		
	ばい煙発生施設の廃止届出 7件	2件		
	氏名変更等届出 25件	15件		
② 公害防止協定の締 結と運用	公害防止協定に基づき、最善の公害防止対策を実施するよう求め 上協定に関する協議があり、それぞれについて了承した。 東北電力株式会社秋田火力発電所における広域的な光化学オー 株式会社三井光機製作所秋田工場の研磨機の増設に関する協 日本製紙株式会社秋田工場の軽質炭酸カルシウム製造設備設 株式会社三井光機製作所秋田工場の公害防止対策に関する協 秋田住友ベーク株式会社の電池用炭素材料の生産を行うための 秋田製錬株式会社秋田工場の3系古紙処理施設高効率化(パリ	議 置に関する協議 定書に定める事項の改定(別表1の改正)に関する協議 D焼成装置の排ガス処理装置の追加設置に関する協議 ・廃止に関する協議	環境保全課	

### (3) 自動車排ガス対策の充実等

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 低公害車導入・普及	市民・事業者に率先して、公用車への低公害車導入を推進した。 ※別添資料→41ページ	環境総務課
② 自転車等駐車場の 整備	実績なし	交通政策課
③ 道路改良事業	24路線、延長4,109mの道路改良工事を実施した。	道路建設課
④ 交差点改良事業	実績なし	道路建設課
⑤ 幹線道路整備事業· 街路事業	・外旭川新川線(寺内工区)ほか3路線の用地取得、建物移転補償および建物調査などを実施した。 ・外旭川新川線(寺内工区)について、道路新設工事を実施した。 ・市内各所で海抜表示シートの設置工事を実施した。	道路建設課
⑥ 交通安全施設等整 備事業	道路反射鏡44基、防護柵101m、道路照明灯4基、道路区画線102kmおよび歩道1,215mを整備した。	道路維持課
⑦ 道路緑化整備事業	街路樹の維持管理として、鉄砲町菅野線ほか45路線、延べ16,119㎡の植樹帯等の除草を実施したほか、川尻広面線ほか41路線、 1,030本の高木剪定ならびに川尻広面線ほか20路線のツツジ等の冬囲いを実施するとともに、街路樹欠損木の補植14本、通行の安全確 保のため、街路樹根上がり補修を22か所実施した。	道路維持課
⑧ エコドライブの推進	エコドライブ講習会を開催した。 ・日 時 平成26年5月24日(土)、10月4日(土) ・場 所 秋田県警察運転免許センター ・参加者数 38名	環境総務課
<ul><li>⑨ 地方バス路線維持対策事業</li></ul>	生活バス路線を確保するため、運行維持が困難な赤字バス路線への補助を行った。 ・バス事業者:秋田中央交通株式会社 ・補助系統数:63系統 ・補助額:61,041千円(一般財源:45,632千円、県補助:15,409千円)	交通政策課
⑩ 美の国あきたエコ交 通キャンペーン	毎月第4金曜日を「エコ交通の日」(ノーマイカーデー)として、庁内放送や広報により、徒歩や自転車、公共交通機関を利用した通勤への転換を呼びかけた。 ・平成26年10月実績(重点実施月) ノーマイカーデー参加者 310名 早起き時差出勤参加者 444名	交通政策課

#### 第2節 水環境

#### (1) 水環境の監視体制の整備等

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
	人の健康の保護に関する項目については、調査を行った14河川、19か所全てにおいて環境基準を達成していた。また、生活環境の保全に関する項目では、調査を行なった22河川、34か所において、水素イオン濃度が2か所、生物化学的酸素要求量が3か所、溶存酸素量が3か所、大腸菌群数が26か所で環境基準を達成できなかった。	環境保全課
	公共用水域の水質および底質調査を河川2か所(草生津川下流、鮎川)、海域1か所(秋田港西2km)で実施した結果、全てで環境基準を達成していた。また、地下水の水質調査を1か所(豊岩)で実施した結果、環境基準を達成していた。	環境保全課

#### (2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 大気·水質等環境保全事業	公害関係法令等に基づき届出の審査、立入検査および指導を行い、規制基準の遵守を徹底させた。 ・特定施設設置等届出件数 72件 ・立入検査 68特定工場延べ89検体 724項目 排水が基準に不適合だったのは3事業場で、不適合項目の内訳は大腸菌群数が3件であった。	環境保全課
② 公害防止協定の締 結と運用【再掲】	公害防止協定に基づき、最善の公害防止対策を実施するよう求めるとともに、対策状況について報告を求めた。また、以下のとおり公害防止協定に関する協議があり、それぞれについて了承した。 ・東北電力株式会社秋田火力発電所における広域的な光化学オキシダント濃度上昇時の措置対応についての協議 ・株式会社三井光機製作所秋田工場の研磨機の増設に関する協議 ・日本製紙株式会社秋田工場の軽質炭酸カルシウム製造設備設置に関する協議 ・株式会社三井光機製作所秋田工場の公害防止対策に関する協定書に定める事項の改定(別表1の改正)に関する協議 ・株式会社三井光機製作所秋田工場の公害防止対策に関する協定書に定める事項の改定(別表1の改正)に関する協議 ・秋田住友ベーク株式会社の電池用炭素材料の生産を行うための焼成装置の排ガス処理装置の追加設置に関する協議 ・秋田製錬株式会社飯島製錬所の焙焼炉および付帯設備の新設・廃止に関する協議 ・日本製紙株式会社秋田工場の3系古紙処理施設高効率化(パルパーの更新)に関する協議	環境保全課

#### (3) 生活排水対策の充実等

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
	下水道事業計画区域外、農業集落排水整備事業区域外および個別排水処理施設整備事業整備区域外における浄化槽の設置促進のため、国・県の補助制度を活用し、設置費の一部を助成する制度を設けている。平成26年度は、2件の補助申請があった(参考:設置届件数47件)。	環境保全課
② 浄化槽整備推進事業	平成26年度は、浄化槽を7基設置した。	下水道整備課
	平成7年度供用開始をした下北手寒川地区農業集落排水施設について、今後の更新または下流域に位置する下北手中央地区農業集落排水施設への統合を検討するため、機能診断業務委託を行った。	下水道整備課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
④ 水洗便所改造資金 融資あつせん制度お よび助成金制度	助成金利用件数 ・融資あっせん:56件 あっせん金額:33,925千円 ・助成金交付:413件 助成金額:16,880千円	給排水課
⑤ 公共下水道事業	平成26年度末実績 •汚水面整備 A=116.72ha •下水道普及率 92.3% •処理可能人口:293,237人(住基人口:317,651人)	下水道整備課
⑥ 流域下水道建設費 負担金	秋田市負担分(77.11%) •補助対象分 317,539千円 •単 独 分 0千円 • 計 317,539千円	上下水道局総務課
⑦ 上下水道教室の開 催	一般向け上下水道教室 ・開催日:平成26年10月16日 ・参加者:8名 ・内 容:施設見学、漏水探知体験	上下水道局総務課
<ul><li>⑧ 下水道設見学受け 入れ</li></ul>	施設見学者数 5団体 249名 内訳 小中高生(園児含) 3団体 211名 一般 2団体 38名 (一般見学者数は、小中高生の引率者含む)	下水道施設課
⑨ 下水道管渠改築事業	中通五丁目地内ほかで、下水道管渠改築工事を実施 ・下水道管渠改築延長 L=3,533m ・工事費 720,795,240円	下水道整備課

#### 第3節 生活環境

# (1) 生活環境の監視体制の整備等

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 生活環境保全事業	主要幹線道路沿い17か所および一般環境地域5か所で騒音の調査を実施した。また、主要幹線道路沿い10か所で振動の調査を行った。 (調査結果) ・道路交通騒音調査 全ての時間区分で環境基準を達成したのは12か所、超過したのは5か所であった。なお、全箇所で要請限度を超過していなかった。 ・一般環境騒音調査 全調査箇所、全時間帯で環境基準を達成していた。 ・道路交通振動調査 全調査箇所、全時間帯で要請限度を超過していなかった。	環境保全課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
② ダイオキシン類等対策事業【再掲】	・大気2か所(年4回)、河川の水質と底質2か所、海域の水質と底質1か所、地下水1か所、土壌6か所で調査を行った。いずれも環境基準を 達成していた。 ・ダイオキシン類対策特別措置法に係る特定施設を設置している3工場・事業所を立入検査し、ダイオキシン類の測定を行った結果、全ての 施設の各項目において、排出(処理)基準に適合していた。	
事業	継続的に摂取される場合には、人の健康を損なうおそれのある物質で、大気汚染の原因となる有害物質のうち、環境基準が定められているベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタンの4物質について、市内2か所で汚染状況の調査を行った。4物質全てで環境基準を達成していた。また、平成26年度から新たに、環境基準の定められていないアセトアルデヒド、トルエン、1,3ーブタジエン、ベンゾ[a]ピレン、ホルムアルデヒドについても、1か所で測定を行った。	環境保全課

#### (2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 生活環境保全事業	騒音規制法および振動規制法に基づく以下の届出を受理した。 ・騒音規制法に基づく届出 21件(設置・廃止・氏名変更等) ・振動規制法に基づく届出 10件(設置・廃止・氏名変更等) ・特定建設作業届出 騒音規制法に基づく届出 22件 振動規制法に基づく届出 11件	環境保全課
② 道路工事の環境指 導	道路工事に関する許可証や承認証に、騒音、振動等に配慮するよう条件を付している。 ・道路占用許可件数 2,357件 ・自費工事施行承認件数 112件	建設総務課

# (3) 生活環境の保全対策の充実等

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 生活環境保全事業	騒音、振動、悪臭に関する苦情相談は合計で54件となっており、内訳は次のとおりであった。 ・騒音苦情 24件(建物の建築・解体現場での重機による作業音、事業所から発生する作業音) ・振動苦情 3件(騒音苦情と同じく建物の建築・解体現場での重機による振動) ・悪臭苦情 27件(畑等からの堆肥臭や腐敗臭、生活活動による雑排水からの悪臭、事業活動による悪臭等)	環境保全課
② 環境配慮指針の普 及·啓発	「秋田市環境配慮行動計画」および「秋田市地球温暖化対策実行計画」について、ホームページへの掲載等により、その周知を図った。	環境総務課
③ 開発行為の指導・許 可	開発許可に際し、開発工事中の環境保全対策等の条件を付した(平成26年度開発許可実績10件)。	都市計画課

#### 第2章 多様な自然をとうとび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます 第1節 自然環境

### (1) 多様で貴重な自然の保全

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 自然環境現況調査	秋田市自然環境保全条例第3条に基づき、本市の環境保全行政の基礎資料とすることを主な目的として、秋田自然史研究会の協力のもと、 旧市内の自然環境に関する補完調査を行った。 ・補完調査 平成16年度に実施した旧市内自然環境調査を補完することを目的として、雄物川河口域の南北に広がる海岸砂丘の陸生植物や雄物川河口海岸砂丘の陸生植物の調査を行った。 【調査期間】平成26年5月~10月 【確 認 種】45科153種(うち重要種5種) 【重 要 種】国が定めているレッドデータブックにおいて絶滅危惧種Ⅱ類指定である「イソスミレ」など計5種を確認 ほか、「ハタガヤ」、「ハマベンケイソウ」、「オカヒジキ」、「ハマボウフウ」	環境総務課
② 特別天然記念物カモ シカ食害対策事業	農業被害に対して防護網4,200m、忌避臭袋38セットを支給した。また、林業被害に対して忌避剤を0.17haに塗布した。	文化振興室
③ 命のつなぎ(種の保存)事業	・動物園内の自然沼、塩曳潟(しおひきがた)に生息する絶滅危惧種ゼニタナゴについて、秋田淡水魚研究会の協力により、沼の生息状況 調査などを計3回実施したほか、ゼニタナゴの保全のために作製した池の中で、約1,000尾の稚魚を孵化させ、成魚を含む982尾を沼に 放流した。 ・また、同じ保全池の中でゼニタナゴが卵を産む貝の繁殖にも成功し、稚貝を含む約2,000個を沼に放流した。さらに、ゼニタナゴ保全活動 の一環として、地元小学生と共に外来生物アメリカザリガニの駆除に努め、年間を通じて約700尾を駆除した。	大森山動物園

#### (2) 自然とふれあいの場の創出

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 都市·農村交流促進 事業	・5月25日(日) 河辺せせらぎウォーク へそ公園~鵜養~伏伸の滝を往復するウォーキング企画:参加者580名 ・6月17日(火) 保育園の野外保育 保育園と鵜養老人クラブの交流活動:参加者51名 ・8月1日(金) 第1回まるごとJANGO体験ツアー 農業試験場、国際教養大見学、大根の種まき体験ほか:参加者14名 ・9月19日(金) 第1回じゃんごで遊ぼう 陶芸体験、油谷これくしょん見学、果樹収穫体験ほか:参加者17名 ・10月10日(金) 第2回じゃんごで遊ぼう 稲刈り体験、果樹収穫体験、きりたんぽ作りほか:参加者15名 ・10月17日(金) 第2回はかんごで遊ぼう ・10月17日(金) 第2回はかんごで遊ぼう ・10月17日(金) 第2回はかんごで遊ぼう ・10月17日(金) 第2回はかんごで遊ぼう ・10月17日(金) 第2回はかんぽ作りほか:参加者15名 ・1月15日(木) なまはげ&餅つき体験 餅つき体験、郷土料理の試食、なまはげ体験:参加者19名  ・合計:711名	農業農村振興課
<ul><li>② 太平山自然学習センター運営事業</li></ul>	小中学生の宿泊研修や自然体験活動等の主催事業を実施した。 ※別添資料→42ページ	太平山自然学習 センター

#### 第2節 身近な自然

### (1) まちの中の緑の保全と創出

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
【再掲】	街路樹の維持管理として、鉄砲町菅野線ほか45路線、延べ16,119㎡の植樹帯等の除草を実施したほか、川尻広面線ほか41路線、 1,030本の高木剪定ならびに川尻広面線ほか20路線のツツジ等の冬囲いを実施するとともに、街路樹欠損木の補植14本、通行の安全確 保のため、街路樹根上がり補修を22か所実施した。	道路維持課
② 都市景観形成事業	景観計画区域内における行為の届出(大規模行為) 届出総件数77件に対し、審査および指導を行い、その全てに対し、景観形成基準に適合する旨の判断をした。	都市計画課
③ 都市公園整備事業	千秋公園の市民交流ゾーン整備、さくら景観整備等を実施した(進捗率(事業費ベース)80.2%)。	公園課
④ 吸収源対策公園緑 地事業	地球温暖化対策の一層の促進を図るため、温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の再整備を実施するもので、平成26年度は牛島西 二丁目第一街区公園の再整備を実施した。 ・事業期間 平成25年度から29年度まで	公園課
⑤ 保存樹管理事業	秋田市が指定した保存樹が、偶然の事故により第三者の生命、身体や財物に損害を与えたことにより、秋田市および樹木の所有者や管理 者が法律上の損害賠償を負った場合に備え、総合賠償責任保険に加入した。	公園課

# (2) 親しみやすい水辺の保全と創出

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 内水面資源維持対策事業	各事業主体で、魚の放流を行った。 ・岩見川漁業協同組合(定額補助 1,675千円) 事業実施期間 6月7日~6月29日 放流河川:岩見川 業種/放流日/購入·放流数 ア ユ(6/7、11) 83,000尾 ヤマメ(6/22、23、28) 120,000尾 イワナ(6/28) 15,000尾 ・仙北西部漁業協同組合(定額補助 174千円) 事業実施期間 6月12日~11月30日 放流河川:雄物川 業種/放流日/購入·放流数 ア ユ(6/13) 20,000尾 ヤマメ(6/20) 10,000尾 イワナ(7/16) 10,000尾 コ イ(10/24) 5,000尾 ・秋田市購入 業種/放流日/購入·放流数 サ ケ(4/20) 30,000尾 放流河川:旭川 主体:秋田青年会議所、旭川小学校 ア ユ(6/9) 1,000尾 放流河川:旭川 主体:旭川清流友の会 ヤマメ(6/10) 2,000尾 放流河川:旭川 主体:上新城地区振興会、上新城小学校	農業農村振興課
② 河川改修事業	普通河川古川の牛島工区において、延長107mの護岸改修および建物調査を実施した。	道路建設課
③ 河川環境整備事業	普通河川古川について、延長200mの河道閉塞部の土砂浚渫および延長50mの護岸整備をした。	道路建設課

	取組名	26年度の取組実績	担当課所室
(4	4)橋りょう整備	実績なし	道路建設課

#### (3) 雪と向き合うまちづくりの実践

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
	道路除排雪に備えるため、ゆき総合対策基本計画に基づき、平成26年11月10日から翌年の3月31日までの期間に「秋田市道路除排雪対策本部」を建設部道路維持課内に設置し、初期除雪の徹底を図ったほか、道路パトロールの強化、GPSの活用、コールセンターの開設等により、道路状況の把握と市民への情報提供に努め、迅速かつ効率的な除排雪に努めた。	道路維持課
② 雪みち計画(歩道無 散水消融雪施設の設 置)	中通本線の歩道消融雪設備設計業務委託(L=300.0m)により整備した。	道路維持課
③ 冬みち安全安心対 策除雪強化事業	凍結抑制剤散布車を1台購入(更新)した。	道路維持課
④ 市民向け除排雪支 援制度の充実	・小型除雪機械を16町内に貸し出し、地域の除排雪作業を支援した。 ・ダンプトラックまたは積込機械を6町内に貸し出し、地域の除排雪作業を支援した。	道路維持課
⑤ 公共交通の確保	・地方バス路線維持対策事業 生活バス路線の維持のため、運行維持が困難な赤字バス路線への補助を行った。 ・バス交通総合改善事業 郊外部における不採算バス路線の廃止代替交通を運行した。 秋田市マイタウン・バス西部線、北部線・笹岡線、南部線、東部線の運行を継続した。	交通政策課
⑥ 融雪施設改良事業	秋田港四ツ谷線ほか2路線の融雪施設改良工事(L=255.3m)により整備した。	道路維持課

### 第3節 自然の公益的機能

### (1) 森林の公益的機能の保全と活用

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
	平成25年度末に修正した地域防災計画の印刷および製本を行い、防災会議委員等に配布したほか、市ホームページでも公開し、周知に努めた。	防災安全対策課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
② 森林環境保全整備 事業	民有林の保育作業等に対する支援のため、森林施業に必要な地域活動に対して4地区の地域活動450.00haに対し交付金を交付したほか、民有林14か所80.44haに対し間伐経費の一部を助成し、一層の間伐促進を図った。 ・森林整備地域活動支援事業 林業事業体等による森林情報の収集活動や、森林所有者等による施業実施区域の明確化作業等の地域活動を支援した。森林整備地域活動支援交付金森林施業に必要な地域活動に対して交付金を交付対象地区 4地区 面積 450.00ha ・森林環境保全整備事業 民有林の間伐促進を図るため森林組合等が行う間伐事業費の一部を助成した。 間伐事業費の助成 森林組合数 1団体(秋田中央森林組合) 事業量 14か所 80.44ha	農地森林整備課
③ 市有林経営	森林経営計画に基づき、造林木の良質化と森林の公益的機能の高度発揮を図るため、計画的な保育施業を実施した。 ・造林事業 保有間伐 99. 76ha	農地森林整備課
④ 県単局所防災事業	山地崩壊による公共施設および人家被害を未然に防止するため、保全施設を設置した。 ・金足下刈字前田地区 擁壁工 L=10.0m H=3.0m	農地森林整備課
⑤ 森林病害虫等防除 事業	森林病害虫等防除法および秋田県森林病害虫等防除事業実施要領に基づき、森林病害虫等(松くい虫、カシノナガキクイムシ等)の早期かつ徹底的な駆除、森林病害のまん延防止により、森林の保全を図った。 ・森林病害虫等防除 森林病害虫等防除 防除地区 6地区 外旭川、楢山、手形山、広面、浜田、泉 事業量 特別伐倒駆除(破砕) 材積数量 70.93㎡(76本) 伐倒駆除(くん蒸) 材積数量 807.79㎡(604本) 薬剤散布 散布面積 4.99ha 樹幹注入 対象木 95本、薬剤本数 600本	農地森林整備課
⑥ 林道の整備	林道の輸送力の向上と通行の安全確保を図るため、測量設計および林道舗装を実施した。 ・楢田線 地 区 下浜八田地区 事業量 林道舗装工事 L=1,216m W=3.0~4.0m	農地森林整備課
⑦ 水と緑の森づくり事業	松くい虫により枯死し、景観維持、安全面から支障になる立木の伐採処理を「マツ林健全化整備事業」として1,683.38㎡実施した。 ・水と緑の森づくり事業 森林環境の保全を図るため、「秋田県水と緑の森づくり税」を活用し、マツ林およびナラ林において伐採処理等を実施した。 ・マツ林・ナラ林等健全化事業 地 区 下浜、濁川 事業量 伐採処理 処理量 1,683.38㎡	農地森林整備課

# (2) 農地の公益的機能の保全と活用

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 地域防災計画策定 事業【再掲】	平成25年度末に修正した地域防災計画の印刷および製本を行い、防災会議委員等に配布したほか、市ホームページでも公開し、周知に努めた。	防災安全対策課
② スーパー市民農園 整備事業	<ul> <li>・椿台スーパー農園 区画数 137</li> <li>平成26年4月12日(土) 農園使用開始</li> <li>平成26年8月6日(水) 栽培講習会および農園一斉清掃</li> <li>平成26年11月1日(土) 農産物展示会</li> <li>・仁井田スーパー農園 区画数 341</li> <li>平成25年度に増設した84区画について使用開始した。</li> <li>平成26年4月12日(土) 農園使用開始</li> <li>平成26年11月1日(土) 農産物展示会</li> </ul>	農業農村振興課
③ 都市·農村交流促進 事業【再掲】	・5月25日(日) 河辺せせらぎウォーク へそ公園~鵜養~伏伸の滝を往復するウォーキング企画:参加者580名 ・6月17日(火) 保育園の野外保育 保育園と鵜養老人クラブの交流活動:参加者51名 ・8月1日(金) 第1回まるごとJANGO体験ツアー 農業試験場、国際教養大見学、大根の種まき体験ほか:参加者14名 ・9月19日(金) 第1回じゃんごで遊ぼう 陶芸体験、油谷これくしょん見学、果樹収穫体験ほか:参加者17名 ・10月10日(金) 第2回じゃんごで遊ぼう 稲刈り体験、果樹収穫体験、きりたんぽ作りほか:参加者15名 ・10月17日(金) 第2回まるごとJANGO体験ツアー 味噌作り体験、岨谷峡散策、大根収穫体験ほか:参加者15名 ・1月15日(木) なまはげ&餅つき体験 餅つき体験、郷土料理の試食、なまはげ体験:参加者19名 合計:711名	農業農村振興課
④ 環境保全型農業直 接支援対策事業	環境保全型農業に取り組んだ農家に対し、交付金を交付した。 9件 対象面積148,500㎡ 交付金額 297,000円	農業農村振興課
⑤ 中山間地域等振興 対策事業	協定締結集落3地区に交付金を交付した。 ・金足浦山 150,124円(A= 23,457㎡) ・雄和碇田 491,609円(A= 76,814㎡) ・雄和萱ケ沢 798,636円(A=124,787㎡)	農業農村振興課
⑥ 農道の整備	農業生産性の向上を図るため、未舗装の農道を市単独で舗装整備した。 地区数 7地区 下新城小友地区ほか6地区 事業量 7路線(舗装延長 994.5m)	農地森林整備課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
⑦ 市単独土地改良事 業補助金	国・県の補助対象とならない小規模土地改良事業に対し、事業費の一部を補助した。 団体数 7団体 秋田市旭川筋土地改良区ほか6団体 地区数 7地区 7号線三ノ堰地区ほか6地区 事業量 7か所(水路改修4か所、揚水機改修2か所、農道改修1か所)	農地森林整備課
8 県営土地改良施設等整備事業費負担金	生産基盤の整備や災害の防止を目的として県が行う、ほ場、用排水路、ため池等の整備事業の円滑な実施を図るため、事業費の一部を負担した。 ・農地集積加速化基盤整備 地区数 5地区 雄和平沢地区ほか4地区 事業量 5地区(区画整理工、調査設計) ・ため池等整備 地区数 5地区 雄和釜ケ沢地区ほか4地区 事業量 5地区(堤体付帯工、頭首工、測量実施設計) ・基幹水利施設(ストックマネジメント) 地区数 1地区 仁井田地区 事業量 1地区(頭首工)	農地森林整備課
⑨ 県単局所防災事業 【再掲】	山地崩壊による公共施設および人家被害を未然に防止するため、保全施設を設置した。 ・金足下刈字前田地区 擁壁工 L=10.0m H=3.0m	農地森林整備課
⑪ 土地改良施設管理 費補助金	多面的機能を有する土地改良施設の機能維持を図るため、施設整備費等の一部を助成した。 団体数 3団体 仁井田堰土地改良区ほか2団体 地区数 3地区 仁井田地区 事業量 3か所(取水施設塗装、水路、ため池)	農地森林整備課
① 土地改良施設維持 管理経費	要望等に基づき、農道の草刈り・修繕、水路修繕、砕石等の原材料交付及び土地改良団体への負担金、陳情用務を行った。 土地改良施設修繕等 ため池2か所、農道橋1か所、農道6か所、水路14か所 法定外公共物維持管理費(市街化区域外)補修、安全施設設置 農道草刈り、水路泥上げ等 農家等の申請に基づき、農道補修用の砕石交付等	農地森林整備課
<ul><li>② 農地·水·農村環境 保全向上活動支援事 業</li></ul>	地域共同による農地・農業用水等の資源の良好な保全と農村環境の質的向上を図る取組を支援した。 ・地域ぐるみの共同活動費の助成 組織数 79組織 末戸松本みのり会ほか78組織 地区数 79地区 事業量 対象面積4,957. 24ha	農地森林整備課

#### (3) 海の公益的機能の保全と活用

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 大気·水質等環境保 全事業	地先海域と海水浴場の水質調査を行った。 ・秋田市地先海域および秋田港7か所 ・秋田市地先海域および秋田港7か所 結果:人の健康の保護に関する項目および生活環境の保全に関する項目(延べ760項目)では、全調査地点で環境基準を達成していた。 ・3海水浴場(下浜、桂浜、浜田)のそれぞれ2か所 結果:開設前、開設中の調査ともに、すべての箇所で「水質が良好な水浴場」と判定される水質AA、または水質Aであった。	環境保全課
② 定期フェリー便需要 拡大推進	秋田県環日本海交流推進協議会「フェリー利用促進部会」に部会員として参加 (部会の開催】 平成26年5月7日 【利用促進事業】 ・フェリーPR活動 長距離フェリー秋田航路就航15周年記念行事 北海道PRイベント(小樽市・札幌市) 長距離フェリー秋田航路リーフレットの作成 秋田県観光HPによるフェリー秋田航路を利用したモデルコース紹介 ・フェリー秋田航路を利用した新規の輸送に対する助成 【宣伝活動事業】 ・フェリー秋田航路のPRリーフレット配布 ・イベント開催等の報道機関への情報提供およびホームページ掲載	港湾貿易振興課

#### 第4節 歴史的・文化的環境

#### (1) 歴史的・文化的遺産の継承と活用

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 都市公園整備事業 【再掲】	千秋公園の市民交流ゾーン整備、さくら景観整備等を実施した(進捗率(事業費ベース)80. 2%)。	公園課
② 地蔵田遺跡環境整備事業	市民ボランティアと協力して史跡の整備を実施したほか、市民参加による体験イベントや学習講座等を行い、郷土学習に活用した。 ・整備 1号竪穴住居屋根差し茅補修 6月8日~10日 木柵一部更新 5月28・29日、6月25・26日、7月5日、9月20日 ・体験イベント ・体験イベント 弥生体験講座(差し茅・火おこし体験) 6月8日 弥生体験講座(石斧伐採・木柵復元体験)7月5日、9月20日 弥生体験講座(土器づくり)7月19日 竪穴住居宿泊体験 8月2・3日 弥生体験講座(石器づくり)9月19・27日 弥生っこ村まつり10月11日	文化振興室

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
③ 史跡秋田城跡環境 整備事業	・史跡秋田城跡環境整備工事 城内東大路の復元整備を行った(長さ15.5m)。 史跡内の環境整備として、危険樹木の伐採、整枝を行った。 ・発掘調査 第104次調査を焼山地区北部で実施し、城内道路の一部を確認した(588㎡)。 第105次調査を焼山地区北部で実施し、外郭の築地塀の位置を確認し、秋田城跡北西部の構造を把握することができた(191㎡)。 ・活用事業 市民を対象に学習講座、史跡探訪会(史跡内の野鳥観察)、発掘調査現地説明会、秋田城跡パネル展(2回)を開催した。また、秋田城跡 から出土した貴重な遺物を紹介するパンフレットを作成、配布した。さらに、小学生を対象とした発掘体験教室の開催や、地域住民と協同で 活用イベントとして東門ふれあいデーを実施したほか、近隣の小学校で出前授業を実施した。 ・土地公有化事業 土地買い上げ予定面積390,221㎡(昭和41年~平成60年)のうち、平成26年度は2,918.49㎡を買い上げ、進捗率が72.03%となった。	秋田城跡調査 事務所
④ 秋田城跡史跡公園 管理事業	・史跡公園・公有化土地草刈り:約20ha(整備地4回、公有地1回) ・史跡公園沼清掃(1回) ・危険樹木伐採・整枝:20本 ・松枯れ防除:4本 ・東門地区階段修繕 ・政庁地区外灯修繕 ・難ノ木地区竪穴住居修繕 ・公衆・東門見学者トイレ清掃:2棟(2回/週)	秋田城跡調査 事務所
⑤ 史跡秋田城跡歴史 資料館(仮称)整備事 業	資料館の建設工事と展示実施設計を行った。	秋田城跡調査 事務所
⑥ 文化財保護活用推 進事業	・歴史の道活用事業として、文化財イラストマップを活用した文化財まちあるきを実施した。 期日:5月23日(土) 参加者数:15名 ・文化財保護強調週間(11月1日~7日)関連事業として文化財めぐりを実施した。 期日:11月5日(水) 参加者数:18名 ・文化財防火デー(1月26日)に伴い防火訓練等を実施した。 期日:1月26日(月) 参加施設・文化財:天徳寺、旧松倉家住宅、赤れんが郷土館、嵯峨家住宅、旧黒澤家住宅、秋田城跡調査事務所、 地蔵田遺跡、新屋図書館	文化振興室

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
⑦ 赤れんが郷土館、民俗芸能伝承館	【赤れんが郷土館】 ・企画展・常設展の開催 「四季彩の街 郷土の版画家たち展」を開催し、秋田出身の版画家たちの作品を見比べながら、それぞれの作家の特色や魅力を紹介した ほか、4回の企画展を開催した。 勝平記念館で5回、関谷記念室で2回の展示替えを行い、郷土が生んだ先人とその作品について紹介した。 国の重要文化財「旧秋田銀行本店本館(赤れんが館)」の資料と秋田の伝統工芸品を紹介した。 も教育普及事業 各展覧会や展示資料、郷土についてより理解を深めるための講座を8講座9回開催したほか、赤れんが館コンサートを開催した。赤れんが館の魅力を高めると同時に、赤れんが郷土館周辺のにぎわい創出につなげるために、7月7日にキャンドルナイトと雅楽の調べ、10月10日にはキャンドルナイトと邦楽の調べを開催した。また竿灯期間中には「洋風建築で秋田の竿燈」を開催した。・資料調査収集事業 市民に郷土の歴史・文化に関する知識や情報を提供するため、郷土資料の寄贈により、所蔵品充実を図った。・ネットワーク事業 秋田市内の県立・市立の文化施設ネットワーク(愛称:みるかネット)の事業として、ギャラリートークリレー、みるかネット講座を開催した。 【民谷芸能伝承館】・常設展の開催 国の重要無形民俗文化財である「秋田の竿燈」をはじめとした郷土の民俗行事・芸能に関する資料や、市の有形文化財である旧金子家住宅を紹介した。・教育普及事業 秋田民謡講座などの講座を4講座16回開催したほか、市内の民俗芸能の保存と啓発、伝承を目的に民俗芸能合同発表会を開催した。・教育普及事業 東田民謡講座などの講座を4講座16回開催したほか、市内の民俗芸能の保存と啓発、伝承を目的に民俗芸能合同発表会を開催した。・ ・教育普及事業 東部者の理解を深めるため「民俗芸能・行事解説シート」を作成し、館内に設置した。	赤れんが郷土館
⑧ 佐竹史料館	<ul> <li>・企画展(年3回)</li> <li>・常設展(年3回)</li> <li>・学習講座(7講座、15日間)</li> <li>・黒澤家日記解読事業(天保11年資料集(十六)を解読刊行した。)</li> <li>・館蔵資料の修復および資料調査収集事業(寄贈1件、「大窪詩佛書」他3点)</li> </ul>	佐竹史料館

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
⑨ 千秋美術館	【常設展の開催】 ・岡田謙三記念館の常設展示を行った(2回展示替、通年)。 ・コレクション展「十人十色 カラフルな洋画の世界ー岡田謙三と秋田の画家たちー」など2回開催した。 【企画展の開催】 ・「MOA美術館名品展 GOLD一黄金の茶室と日本美術の至宝ー」展など3回開催した。 【企画展の関連事業】 ・講演会を開催した(5回)。 ・スペシャルギャラリートークを開催した(1回)。 ・呈茶席、映画上映会およびコンサートを開催した(7回)。 【美術資料充実事業】 ・購入「寺崎廣業・「山水図屏風』1点 【教育普及事業】 ・美術館来館記念カード「千秋美術館へ行こう!」、美術館作品鑑賞カードを発行した。 ・ワークショップ・実技講座を開催した(「金で描く」ほか3回)。 ・美術講座を開催した(「入門!西洋絵画〜学芸員と見る聖書の絵画から印象派まで〜」ほか3回)。 ・館外講座を開催した(「秋田の美術」ほか4回)。 【その他】 ・図録フェアを開催した(11月21日から2月1日まで)。 ・アトリオン文化創造事業「草間彌生 永遠の永遠の永遠」展の関連展示など2回開催した。 ・藤田嗣治「花鳥図」再現展示公開した。	千秋美術館
⑩ 藤倉水源地	実績なし	上下水道局総務課
⑪ 竿燈まつり振興事業	秋田竿燈まつりの実施における環境衛生および安全対策に係る経費について、秋田市竿燈まつり実行委員会に対し、補助・支援を行った。	観光物産課
⑫ 桜・つつじまつり事業	太平川の桜まつり(観桜会)実施における会場設営やイベント実施等に係る経費について、太平川観桜会実行委員会に対し、補助・支援を 行った。	観光物産課
	あらやさくら公園観桜実行委員会に対して開催事業費を補助した。	西部市民サービス センター
④ 土崎港まつり支援	地域資源である伝統行事の伝承・保存を図るため、国の重要無形民俗文化財の「土崎神明社例祭の曳山行事」を中心とする土崎港まつりの 開催に対し支援した。	北部市民サービス センター

#### (2) 歴史的・文化的環境を活かした活動の支援

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 秋田市民交流プラザ 市民活動育成・支援	<ul> <li>・アドバイザー相談件数 266件</li> <li>・市民活動団体等による打合せ利用回数 656件</li> <li>・講座関係</li> <li>ボランティア・NPO支援講座 3回(計98名)</li> <li>ボランティア・NPOスキルアップ講座 3回(計136名)</li> <li>まちづくり市民活動講座 1回(103名)</li> <li>・市民活動フェスタ(市民活動団体ブース展示等) 2,500人参加</li> </ul>	秋田市民交流 プラザ管理室
② 文化施設等の事業 や活動	・千秋美術館 入館者数 62,394人 企画展4回と常設展を開催、ワークショップや講座等の教育普及事業を行った。 ・赤れんが郷土館 入館者数 20,831人 企画展5回と常設展の開催、赤れんが館コンサート等の教育普及事業を行った。 ・民俗芸能伝承館・旧金子家住宅 入館者数 37,815人 施設利用者数 12,366人 常設展示と秋田市民俗芸能合同発表会等の教育普及事業を行った。 ・佐竹史料館・久保田城御隅櫓・旧黒澤家住宅 入館者数 46,905人 企画展3回と常設展の開催、佐竹史料館学習講座等の教育普及事業を行った。 ・文化会館 入館者数 290,966人 自主事業として「あきたミステリーシアター2014」、「秋田子ども邦舞・邦楽ゆかたざらい」、劇団四季「こころの劇場」、「池辺晋一郎&N響団 友オーケストラ」を行った。	文化振興室
③ 文化振興基金事業	・第31回秋田市文化選奨 芸術・学術分野において前年度優れた作品・成果を発表し、本市文化の振興に寄与した個人・団体を表彰した。 受賞者(学術部門) 五十嵐典彦「あきたの町並みと町家一歴史空間の継承に一」 (書道部門) 渡部晃溪 千字文「梁勅員外散騎侍郎周興嗣次韻」 (社会文化部門) 土崎のことば編集委員会「続土崎のことば」 表彰式 平成26年7月23日 場所 秋田ビューホテル ・秋田市文化振興助成事業 本市文化の向上に寄与すると認められる市民の自主的な文化活動に対し、事業費の一部を助成した。 一般枠 10件 ヤングクリエイター枠 2件	文化振興室
<ul><li>④ 公民館や図書館等の事業や活動</li></ul>	各公民館や市民サービスセンター、図書館等では、各種学級や写真展示・資料展示などで、郷土の歴史や文化を自主的に学び、地元や秋田県内に伝わる郷土芸能伝承活動に取り組んだ。 ・公民館等(4公民館、4市民サービスセンター)11件 参加延べ人数 2,154人 ・図書館(4館、1分館)10件 参加延べ人数 4,774人(講座等、写真展・資料展示)	生涯学習室

#### 第3章 知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします

#### 第1節 廃棄物

#### (1) 廃棄物等の発生抑制

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 一般廃棄物処理基 本計画の策定・管理	一般廃棄物を適正に処理し、環境に配慮した循環型社会の実現に向けて取り組んでいくため、新たな秋田市一般廃棄物処理計画を平成27 年3月に策定した。	環境都市推進課
<ul><li>② ごみ減量対策事業</li></ul>	・家庭系生ごみの減量を一層推進するため、生ごみ堆肥化容器の購入に対し、補助した(1基につき上限3,000円、1世帯2基まで)。販売基数 125件 補助金額 272,200円 ・生ごみ堆肥づくりを支援するため、コンポスター、ダンボール箱、EM菌を活用した講座を開催した。参加人数 299人 ・廃棄物の適正分別によるごみの減量とリサイクルの推進を図るため、資源化物を回収する集団回収の実施団体および回収業者に対し、奨励金を交付した。 奨励金交付団体 572団体 572団体 14,759,437円 ・平成24年7月1日より回収品目の単価を増額した。 雑誌・雑がみ 4円から6円 新聞・ダンボール箱・紙パック 1.5円から2円 ・ごみ減量・分別井戸端会議やごみ減量説明会を開催した。 53回・マイバッグ作り講座を開催し、ごみ減量を啓発した。 ステンシル、染めなど 8回 新聞エコバッグ作り 6回・マイバッグ推進、レジ袋削減ポスターを作成し、市関係機関や店舗等に掲示した。 A1判 300枚	環境都市推進課
③ 環境学習推進事業	小学校や児童館等へ訪問し、児童や親子に対してごみ減量や再資源化についての環境学習を行い啓発した。 ・学校等訪問回数 6回	環境都市推進課
④ 総合環境センターの 施設見学	<ul> <li>【溶融施設】</li> <li>・団体数 111団体</li> <li>・参加人数 4,136人</li> <li>【リサイクルプラザ】</li> <li>・団体数 104団体</li> <li>・参加人数 4,043人</li> </ul>	総合環境センター

#### (2) 循環資源の再使用・再生利用

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① ごみ減量対策事業	167事業所へ訪問し、調査・指導により、事業系一般廃棄物の分別・再資源化を図った。	環境都市推進課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
② 古紙ステーション回収システムの支援	・古紙ステーション回収量 8,690t ・回収支援経費 9,694千円	環境都市推進課
③ 資源化物の適正処 理	<ul> <li>【容器包装リサイクル法に基づく、資源化物の特定事業者への引渡し量】</li> <li>・びん無色 938,540kg</li> <li>・びん茶色 850,180kg</li> <li>・びんその他 693,570kg</li> <li>・PET 827,790kg</li> <li>【資源化量】</li> <li>・缶 スチール 452,910kg</li> <li>・缶 アルミ 565,140kg</li> <li>・乾電池 29,440kg</li> </ul>	総合環境センター
④ 廃棄物発電の実施	・1、2号溶融炉による発電量 49,893,400kWh ・平成26年度 売電収入 394,113,074円(税込み)	総合環境センター
⑤ 生活用品交換案内	登録受付件数 ・ゆずる 7件 ・ほしい 15件 ・交渉成立 O件	市民相談センター
	【環境総務課】 ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 【契約課】 用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。 ※別添資料→43ページ	環境総務課
⑦ 各種建設・改築事業	道路工事において、環境負荷の低減を図った。 ・バックホー等の施工機械について、排出ガス対策型とした。 ・コンクリート製品について、秋田県認定リサイクル製品(溶融スラグ入り)を活用した。	駅東工事事務所
⑧ 各種建設·改築事業	配水管整備事業や施設改良事業等を行った。 ・舗装材(アスファルト)は再生材を使用し、取り壊しした舗装(アスファルト・コンクリート)は再生処理するなど、環境に配慮したまちづくりを実践した。 ・主要な建設機械には、排ガス対策型や低騒音型を使用し、生活環境に配慮しながら工事を行った。	水道建設課

### (3) 廃棄物の適正処理

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 一般廃棄物処理基本計画の策定・管理 【再掲】	一般廃棄物を適正に処理し、環境に配慮した循環型社会の実現に向けて取り組んでいくため、新たな秋田市一般廃棄物処理計画を平成27 年3月に策定した。	環境都市推進課
② 廃棄物処理施設の 整備	・ごみ処理 溶融施設大規模改修事業については、平成14年4月から稼働している秋田市総合環境センター溶融施設の主要機械設備および電気設備 が、経年劣化により更新等が必要になっていることから、平成25年度から27年度までの3か年で大規模改修を実施しており、その2年目の 改修を実施した。 平成26年度事業費:675,984千円 ※143,118千円は次年度以降へ繰越 (総事業費:2,224,900千円)	環境総務課
<ul><li>③ ごみ収集業務の収 集体制の見直し</li></ul>	直営収集車の民間委託化は、平成22年度で当初計画どおり終了した(民間委託台数 51台)。	環境都市推進課
<ul><li>④ 粗大ごみ戸別収集 事業</li></ul>	<ul><li>・収集量 558t</li><li>・収集件数 20,806件</li><li>・収集個数 50,414個</li><li>・証紙売上額 18,830千円</li></ul>	環境都市推進課
⑤ 産業廃棄物処理施 設等の監視・指導	立入検査計画に基づき、立入検査を実施した。 立入件数275件(うち文書指導0件、口頭指導29件)	廃棄物対策課
⑥ 不法投棄対策事業	<ul> <li>・林道や側道を中心に10台の移動式監視カメラを設置した(延べ61か所に設置)。</li> <li>・委託、職員、不法投棄監視員によるパトロールを実施した。</li> <li>委託によるパトロール 230日(早朝39日、夜間38日、日中153日)</li> <li>職員によるパトロール 241日(早朝11日、夜間10日を含む)</li> <li>不法投棄監視員によるパトロール(随時)</li> <li>・全国ごみ不法投棄監視ウィークの取組市内15か所にのぼり旗の掲示</li> <li>国土交通省秋田河川国道事務所との合同パトロールの実施(6/3)</li> <li>環境展への出展(6/1)</li> <li>・不法投棄ゼロ宣言事業を11地区で実施した。</li> <li>実施地区(金足片田、下新城岩城、太平野田、添川、上北手大山田、上北手寺村、下浜名ヶ沢、河辺戸島、河辺杉沢、雄和平尾鳥、雄和女米木)</li> <li>・広報あきたおよびホームページを活用した啓発を実施した。</li> </ul>	廃棄物対策課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
⑦ 一般廃棄物の適正 処理	【収集実績(家庭系)】 - 家庭ごみ 60,827t - 湘大ごみ 558t 資源化物 - 空きがん 2,397t - 空きかん 1,135t - ベットボトル 883t - 金属類 608t - ガス・スプレー缶 3t - 使用済み乾電池 19t その他 - 古紙類 8,690t - 集団回収 3,948t 【総合環境センター(処理量)】 - 溶融実績 119,758t - 望立実績 4,156t - 破砕処理実績 3,034t - 実績合計 126,948t 【汚泥再生処理センター】 - 処理実績 41,769kℓ	環境都市推進課
⑧ 畜産環境対策·有機 農業等推進業務	家畜排せつ物に関しては、秋田県および関係機関と連携し、秋田市内2地域(河辺・雄和)を対象とした巡回を行い、適正な処理と有効活用 の啓発活動を実施した。 ・検査日 平成26年6月12日 ・対象畜産農家2戸(牛飼養2戸)	農業農村振興課

### 第2節 エネルギー・水資源

# (1)省エネルギーの推進と利用効率の向上

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 環境配慮指針の普 及·啓発	・「秋田市環境配慮行動計画」および「秋田市地球温暖化対策実行計画」をホームページに掲載し、その周知を図った。 ・環境配慮に関する情報紙「eー市民だより」を発行(隔月)し、啓発イベントでの配布、公民館やコミュニティセンター等の公共施設への掲示により、意識啓発を図った。	環境総務課
	・エコあきた行動計画に基づき、年間をとおして実施した。 ・四半期毎に取組実績を報告させ、前年度同期との比較表を作成し、意識付けを行った。 ※別添資料→43ページ	環境総務課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
③ 定期フェリー便需要拡大推進【再掲】	秋田県環日本海交流推進協議会「フェリー利用促進部会」に部会員として参加 (部会の開催】 平成26年5月7日 【利用促進事業】 ・フェリーPR活動 長距離フェリー秋田航路就航15周年記念行事 北海道PRイベント(小樽市・札幌市) 長距離フェリー秋田航路リーフレットの作成 秋田県観光HPによるフェリー秋田航路を利用したモデルコース紹介 ・フェリー秋田航路を利用した新規の輸送に対する助成 【宣伝活動事業】 ・フェリー秋田航路のPRリーフレット配布 ・イベント開催等の報道機関への情報提供およびホームページ掲載	港湾貿易振興課
④ グリーン購入・グリーン調達の推進【再掲】	【環境総務課】 ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 【契約課】 用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。 ※別添資料→43ページ	環境総務課
⑤ スマートシティ情報統合管理基盤の構築	センサーを設置するなど、市役所のエネルギー使用状況の可視化を行い、エネルギー削減に努めた。結果、センサー設置施設では、平成 23年度比5.6%削減を達成した。	環境総務課
⑥ 地域ESCO事業の導 入	平成24年度に省エネルギー改修等を行った市有4施設についてESCO事業を継続して実施した。	環境総務課
⑦ 町内防犯灯のLED 化	平成24年10月1日からESCOサービスを開始し、平成34年9月30日までの10年間の維持管理はESCO事業によるため、平成26年度は、ESCO事業者に対し、ESCOサービス料(使用料及び賃借料)の支出を行った。	生活総務課
<ul><li>⑧ 長期優良住宅の認定</li><li>定</li></ul>	平成26年度 認定件数206件	住宅整備課

# (2) 新エネルギー利用の促進

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
啓発事業	市内の住宅に太陽光発電システムを設置する、もしくは市内に太陽光発電システム付き住宅を購入する市民に補助金を交付し、新エネルギーの普及を図った。 ・補助件数 115件 ・総最大出力 524.26kw ・補助総額 10,558千円	環境総務課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
② 廃棄物発電の実施 【再掲】	・1、2号溶融炉による発電量 49,893,400kWh ・平成26年度 売電収入 394,113,074円(税込み)	総合環境センター
③ 公共施設整備にあたっての新エネルギーの導入	秋田県の公共施設再生可能エネルギー等導入事業費補助金を活用し、市有施設への再生可能エネルギーを導入した。 ・秋田東中学校 太陽光発電 16.25kW ・城南中学校 太陽光発電 16.72kW ・秋田商業高校 太陽光発電 16.72kW ・老人福祉センター ペレットボイラー 407kW ・公立美術大学 ペレットボイラー 584kW ・園芸振興センター ペレット温風機 116kW	環境総務課

#### (3) 水資源の保全と有効利用

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 秋田市水道事業基本計画に基づく取組	【配水管整備事業】 ・布設および布設替延長 23,505.4m ・事業費 1,757,648千円 【漏水調査業務委託】 ・調査延長 719.3km ・調査戸数 81,127戸 ・事業費 26,439千円 【平成26年度有効率 94.6%】	上下水道局総務課
② 地下水の水質監視	<ul> <li>・地下水質測定計画に基づき、31井戸において調査を行った(内訳 概況調査21、継続監視5、土崎5)。</li> <li>・概況調査を実施した21井戸のうち、硝酸性窒素および亜硝酸性窒素が1井戸で環境基準を達成できなかった。</li> <li>・継続監視調査を実施した5井戸において、硝酸性窒素および亜硝酸性窒素が1井戸で環境基準を達成できなかった。</li> <li>・その他は、環境基準を達成していた。</li> </ul>	環境保全課
③ 雄物川水系水質汚 濁対策連絡協議会と の連携	国、県および秋田市を含む流域8市町村で構成する雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会では、雄物川の環境美化や環境保全を図るため、流域一斉のクリーンアップの実施や油流出事故等に関する情報を共有するため、連絡体制の整備・強化を図っている。 ・雄物川流域一斉清掃の実施 日時 5月25日(日) 場所 雄物川右岸 参加人数 456名 回収量 0.9t ・雄物川水系水質事故緊急措置演習の実施(油類流出事故を想定) 日時 10月27日(月) 場所 秋田市河辺戸島字七曲下地内 岩見川芝野頭首工付近	環境保全課
④ 森林の整備	造林木の良質化と森林の公益的機能の高度発揮を図るため、保育施業として間伐を実施した。 ・造林事業 保育間伐 99. 76ha	農地森林整備課

#### 第4章 世代や地域を越えてともに語らい、環(わ)となって取り組みます

#### 第1節 環境保全活動

#### (1) 市民の環境保全活動の促進

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① ごみ減量対策事業	平成26年1月~12月までの資源集団回収量 ・びん16.9t ・金属29.7t ・新聞2,389.7t ・ダンボール722.4t ・雑誌類761.7t ・紙パック0.9t ・その他0.4t(合計3,921.7 t)を回収した。	環境都市推進課
<ul><li>② 自然環境保全市民活動計画の推進</li></ul>	自然環境保全条例に基づき、市民活動計画として認定した団体の活動支援および活動のPRを行った。 【市民活動計画認定団体(3団体)】 ・大学病院前の水辺環境を守る会(愛称:ホータル会) 会員数:約80名 活動内容:水路の清掃、草刈り、生物の勉強会など ・日本野鳥の会秋田県支部 会員数:約250名 活動内容:野鳥観察 ・秋田森の会・風のハーモニー 会員数:約300名 活動内容:炭焼き体験、植樹、森林体験など また、新規に2団体を認定した(平成27年3月6日付)。 ・高清水町内会緑を守る会 会員数:約500名 活動内容:池周辺の植栽、草刈り、桜祭りなど ・おのばホタル会 会員数:約30名 活動内容:池周辺の植栽、草刈り、桜祭りなど ・おのばホタル会 会員数:約30名 活動内容:ホタルを取り巻く自然環境の保護、清掃、下刈りなど	環境総務課
③ 活動団体への講師 の派遣	・各種環境学習会の開催に際し、職員を講師として派遣した(環境学習サポート事業59回)。 ・「ごみ減量・分別井戸端会議」や「ごみ減量説明会」を開催した(53回)。	環境総務課
④ 消費者啓発事業	消費者講座開催時のパネル展で、ごみ減量などに関する啓発ポスターを掲示した。	市民相談センター
⑤ 空閑地の美化事業	・空閑地の除草の勧告を行い、良好な生活環境の確保に努めた。 ・空閑地除草強化旬間を設け、空閑地の良好な生活環境の確保の推進を図った(7月18日~7月31日)。除草勧告件数:69件	公園課

#### (2) 事業者の環境保全活動の促進

取組名	26年度の取組実績	担当課所室	
	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律に基づく次の届出を受理した。 ・公害防止統括者等の届出 公害防止組織に関する届出:17件	環境保全課	

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
② 製造業環境担当者と の情報交換	開催実績なし(法令等の改正なし)	環境保全課
③ 事業系廃棄物減量· 再資源化事業	指導事業所 167事業所	環境都市推進課

#### (3) 市、事業者、市民の連携の推進

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
	協議会が実施する研修会や各種活動へ参加するとともに、その支援に努めた。 なお、当会の事務局はこれまで市が行ってきたが、平成26年度をもって終了し、27年度以降は1会員として事業に携わることとなる。	環境総務課
	平成26年度版ホタルマップを発行した(7,000部)。 6月から8月までのホタルの発生時期に合わせ、秋田県自然観察指導員連絡協議会秋田市支部の協力により、5年前に報告のあった場所 を中心にホタルの発生状況を確認した。 また、一般市民や小学生からホタル発見の報告があった場合には、職員が現場に赴き確認し、それらのデータを集約してホタルマップを作成 した。	環境総務課

### 第2節 環境配慮対策

# (1) 環境情報の整備と共有化

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
①「広報あきた」の発行	以下の号に特集(1ページ以上)として関連記事を掲載したほか、必要に応じて「不法投棄防止」、「全市一斉清掃」、「環境イベント告知」などを通常記事として掲載した。 ・特集記事 平成26年5月2日号「みんなの努力でごみ減量目標達成!」 平成26年6月6日号「最新版ホタルマップ作りにご協力を!」 平成26年11月21日号「家庭系ごみ累計排出量が昨年同時期より1グラム減少」 平成27年2月20日号「平成25年度『秋田市決算~家庭ごみ処理手数料編』」 平成27年3月20日号「市の計画が国の『次世代エネルギーパーク』に認定!」	広報広聴課
② 市政番組の放送	ごみ減量の啓発について広報番組で広く市民にPRした。 広報テレビ番組 ・5分番組(民放3局) 平成26年8月上旬放送「市民リポーターが紹介 ひと手間加えてごみ減量」 平成27年2月中旬放送「市民リポーターが紹介 ごみ減量アクション」 ・広報ラジオ番組(民放2局) 平成26年7月28・29日放送「ごみの減量にご協力ください」 平成26年10月27・28日放送「秋田市が行っているごみ減量の取組について」	広報広聴課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
供	・ホームページ、広報、テレビ、ラジオ、新聞等を通じた情報提供の充実に努めた(環境部各課所)。 ・「あきた次世代エネルギーパーク」について、ホームページに掲載し、周知を図った(環境総務課)。 ・「秋田市環境基本計画年次報告書」を作成し、ホームページで公表した(環境総務課)。 ・地球温暖化対策情報提供誌「eー市民だより」を発行(6回)した(環境総務課)。 ・小学生環境学習副読本「私たちのくらしとかんきょう」を作成し、市内51小学校に配布した(環境総務課)。 副読本2,800部 指導のてびき110部	環境総務課
	平成25年度末に修正した地域防災計画の印刷および製本を行い、防災会議委員等に配布したほか、市ホームページでも公開し、周知に努めた。	防災安全対策課

### (2) 環境配慮に係るしくみの整備

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 大規模小売店舗立 地法に基づく周辺環 境配慮	大規模小売店舗立地法に基づく届出に対し、当該店舗の周辺の地域の生活環境の保持の観点から意見の有無を通知した。 ・法第5条第1項 1件 新設の届出・・・1件「意見なし」 ・法第6条第2項 1件 小売業者を行う者の閉店時刻の変更・・・O件	商工労働課
	開発行為の協議時において、開発工事中の環境保全対策を指導した。 平成26年度開発許可実績 10件	都市計画課

# (3) 環境に配慮したまちづくりの実践

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
	桜地区コミュニティセンター(仮称)新築に伴う給排水管等の切り回し工事において、外構の復旧の際、舗装にアスファルト再生材を使用した ほか、路盤に再生砕石を使用した。	生活総務課
③ 各種建設事業【再掲】	配水管整備事業や施設改良事業等を行った。 ・舗装材(アスファルト)は再生材を使用し、取り壊しした舗装(アスファルト・コンクリート)は再生処理するなど、環境に配慮したまちづくりを実践した。 ・主要な建設機械には、排ガス対策型や低騒音型を使用し、生活環境に配慮しながら工事を行った。	水道建設課
② 各種建設事業【再掲】	道路工事において、環境負荷の低減を図った。 ・バックホー等の施工機械について、排出ガス対策型とした。 ・コンクリート製品について、秋田県認定リサイクル製品(溶融スラグ入り)を活用した。	駅東工事事務所
④ 各種活性化事業	まちあかり・ふれあい推進事業 ・町内自治活動助成金 28,504千円 ・灯具交換・補修費助成金 212千円 ・防犯灯電気料助成金 35,230千円 ・町内防犯灯設置委託 4,884千円	生活総務課

#### 第5章 一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します

#### 第1節 環境教育・環境学習

#### (1) 環境情報の収集と提供

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
①「広報あきた」の発行 【再掲】	以下の号に特集(1ページ以上)として関連記事を掲載したほか、必要に応じて「不法投棄防止」、「全市一斉清掃」、「環境イベント告知」などを通常記事として掲載した。 ・特集記事 平成26年5月2日号「みんなの努力でごみ減量目標達成!」 平成26年6月6日号「最新版ホタルマップ作りにご協力を!」 平成26年11月21日号「家庭系ごみ累計排出量が昨年同時期より1グラム減少」 平成27年2月20日号「平成25年度『秋田市決算~家庭ごみ処理手数料編』」 平成27年3月20日号「市の計画が国の『次世代エネルギーパーク』に認定!」	広報広聴課
2)市政番組の放送【再 掲】	ごみ減量の啓発について広報番組で広く市民にPRした。 広報テレビ番組 ・5分番組(民放3局) 平成26年8月上旬放送「市民リポーターが紹介 ひと手間加えてごみ減量」 平成27年2月中旬放送「市民リポーターが紹介 ごみ減量アクション」 ・広報ラジオ番組(民放2局) 平成26年7月28・29日放送「ごみの減量にご協力ください」 平成26年10月27・28日放送「秋田市が行っているごみ減量の取組について」	広報広聴課
③ 環境教育の実施	【総合的な学習の時間に自然体験を行っている学校】 ・小学校31校(68.8%) ・中学校12校(50.0%)  【環境教育をねらいとした活動の実施状況】 ・校舎以外のクリーンアップ ・小学校45校中24校(53.3%) ・中学校24校中19校(79.1%) ・学校農園、学校林活動等の緑化活動 ・小学校45校中3教(73.3%) ・中学校24校中2校(8.3%) ・川の水質汚濁、酸性雨等の調査活動 ・小学校45校中3校(6.6%) ・中学校24校中2校(8.3%) ・古紙、空きびん、空き缶回収等のリサイクル活動 ・小学校45校中29校(64.4%) ・中学校24校中18校(75.0%) ・ごみの減量化 ・小学校45校中24校(53.3%) ・中学校24校中24校(53.3%) ・中学校24校中24校(53.3%)	学校教育課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
④ 環境情報の整備・提供【再掲】	・ホームページ、広報、テレビ、ラジオ、新聞等を通じた情報提供の充実に努めた(環境部各課所室)。 ・「あきた次世代エネルギーパーク」について、ホームページに掲載し、周知を図った(環境総務課)。 ・「秋田市環境基本計画年次報告書」を作成し、ホームページで公表した(環境総務課)。 ・地球温暖化対策情報提供誌「eー市民だより」を発行(6回)した(環境総務課)。 ・小学生環境学習副読本「私たちのくらしとかんきょう」を作成し、市内51小学校に配布した(環境総務課)。 副読本2,800部 指導のてびき110部	環境総務課
⑤ 環境学習推進事業	「環境展」 ・目的 の環境月間行事の一環として、環境に関する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことを目的に、上下水道局で実施する「水道ふれあいフェア」と合同で「環境展」を開催した。 ・日時 平成26年6月 旧(は) 10:00~15:00 ・会場 JR秋田駅前大屋根下・アゴラ広場 ・内容 ・カ分別つりゲーム ・こども大声コンテスト ・芸技楽に関するパネル等の展示 ・ボカク別の展示 ・ボナクの展示 ・一市民制度紹介と新規募集 「銀子環境教室」 ・目的 ・	

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
⑥ 環境学習サポート事業	環境学習サポート事業を実施し、学校や市民団体の要望に応じ、環境教育・学習の場への講師の派遣や資料の提供を行った。 ・各種環境学習会 59回開催 2,808人参加	環境総務課

### (2) 環境学習プログラムの整備と機会の充実

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
	市内4公民館や4市民サービスセンターにおいて、各ブロック子ども会交流会やカヌー教室など、野外活動や宿泊体験、ものづくりなどの体験活動を実施した(事業数22、参加延べ人数1,228人)。	生涯学習室
② 太平山自然学習セン ター運営事業【再掲】		太平山自然学習 センター
<ul><li>③ 体験学習やふれあい 教室の実施</li></ul>	・また、来園者を対象に小動物とのふれあいを行う「なかよしタイム」には、開催245日で50,460人の参加があり、幼稚園や小学校などの申	大森山動物園
④ 命のつなぎ(種の保存)事業活動【再掲】	・動物園内の自然沼、塩曳潟(しおひきがた)に生息する絶滅危惧種ゼニタナゴについて、秋田淡水魚研究会の協力により、沼の生息状況 調査などを計3回実施したほか、ゼニタナゴの保全のために作製した池の中で、約1,000尾の稚魚を孵化させ、成魚を含む982尾を沼に 放流した。 ・また、同じ保全池の中でゼニタナゴが卵を産む貝の繁殖にも成功し、稚貝を含む約2,000個を沼に放流した。さらに、ゼニタナゴ保全活動 の一環として、地元小学生と共に外来生物アメリカザリガニの駆除に努め、年間を通じて約700尾を駆除した。	大森山動物園
⑤ 環境教育展示	・園内で実施している絶滅危惧種ゼニタナゴの保全活動の一環として、保護池で育成した成魚4匹、稚魚20匹を園内水槽へ移入展示し、保全活動への理解を求めた。なお、これまで水槽展示した魚は、塩曳潟へ放流した。 ・また、比較展示の意味もこめて絶滅危惧種のシナイモツゴとキタノアカヒレタビラについても、継続して飼育展示中である。	大森山動物園
⑥ 農業体験学習推進 対策事業	市内小学校で実施する農業体験学習等を支援してきたが、当初の目的を達成したことから平成25年度をもって事業終了した。	農林総務課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
【再掲】	【環境展】 ・目的 ・6月の環境月間行事の一環として、環境に関する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことを目的に、上下水道局で実施する「水道ふれあいフェア」と合同で「環境展」を開催した。 ・日時 平成を26年6月1日(土) 10:00~15:00 ・会場 JR秋田駅前大屋根下・アゴラ広場 ・内容 こみ分別つりゲーム こみ集積所設置等の補助事業の紹介 ことも大声コンテスト 不法投棄に関するバネル等の展示 を現力かつの紹介 ・市民制を紹介と新規募集 「観子環境教室】 ・目的 ・ 教知市では学校教育や社会教育等の多様な場において、環境教育を実施している。 環境部においても平成7年度から10年度まで、小学生を対象に「夏休みこども環境教室」を開催してきた。11年度からは、親子で海水の調査・リサイクルなどを体験することにより、環境に対する意識を高めてもらうことを目的として「親子環境教室」を開催してきた。26年度は、年4回開催した。 ・ホタル観察会 日時・6月28日(土)19:30~21:00(対象:市内小学生とその保護者) 内容・オタル講座、観察 ・水タル調座、観察 ・水タル調座、観察 ・水ダル関係会 日時 7月5日(土)19:30~21:00(対象:年齢制限なし) 内容・オタル講座、観察 ・水ダル関係会 日時 7月2日(土) 19:30~21:00(対象:年齢制限なし) 内容・オタル講座、観察 ・メなとの水気調査・秋田海上保安部の協力による港の学習) 日時 7月29日(火) 9:00~12:00 内容 ・ビデオによる学習  ※視艇に乗船し、港の様子と海から秋田市を観察 ・水質調査のための採水(港内、外海) 透明度の測定(港内、外海) ・エコ科学実験教室(秋田大学の協力による、身近なものを使った科学実験) 日時 8月22日金)9:00~11:00	環境総務課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
⑧ 市職員の環境教育	・各課所室校の担当者(エコあきた日常推進員)に対し、秋田市環境配慮行動計画の取組状況および取組強化について説明会を開催した。 ・文書一斉廃棄に際し、紙類の分別・リサイクルおよび使用量の節減について職員に徹底した。 ・エコ通勤ウイーク(毎月第4金曜日のある週)を設定し、全職員に、自転車や徒歩、公共交通機関での通勤を呼びかけた。	環境総務課
<ul><li>⑨ 環境学習サポート事業</li><li>業【再掲】</li></ul>	環境学習サポート事業を実施し、学校や市民団体の要望に応じ、環境教育・学習の場への講師の派遣や資料の提供を行った。 ・各種環境学習会 59回開催 2,808人参加	環境総務課
⑩ 資源集団回収事業	平成24年7月1日より回収品目の単価を増額した。 奨励金算出基礎 1~12月分 ・実施回数割額 450円/回(月2回以上実施した時は1回分とする) ・回収数量割額 1Kg当たり雑誌・雑がみ 6円、その他の古紙 2円、その他 1.5円 ・実施団体数 572団体 ・集団回収回数 4,806回	環境都市推進課

# (3) 人材の育成と連携の促進

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
	市内4公民館や4市民サービスセンターにおいて、各ブロック子ども会交流会やカヌー教室など、野外活動や宿泊体験、ものづくりなどの体験活動を実施した(事業数22、参加延べ人数1,228人)。	生涯学習室
② こどもエコクラブ事業	・こどもが誰でも参加できる環境活動のクラブ。環境学習・環境保全などの活動を行っている。 こどもエコクラブ事業・・・環境省が平成7年度より企画・推進している。 ・本市の状況 こどもエコクラブ登録者 21クラブ(メンバー1,272人、サポーター133人) 壁新聞応募 1クラブ	環境総務課

### 第2節 地球環境問題

### (1) 地球環境保全対策

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
)環境学習推進事業 【再掲】	【環境展】 ・目的 の月の環境月間行事の一環として、環境に関する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことを目的に、上下水道局で実施する「水道ふれあいフェア」と合同で「環境展」を開催した。 ・日時 平成26年6月1日(土) 10:00~15:00 ・会場 JR秋田駅前大屋根下・アゴラ広場 ・内容 ・	

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
② 酸性雨のモニタリン グ	酸性雨や酸性雪の実態を把握するため、降雨については市庁舎分館屋上、降雪については市営八橋球場において調査を実施した。その結果、水素イオン濃度は加重平均値で降雨が4.9、降雪が4.6となっており、秋田市の降雨・降雪は、測定以来、酸性で推移している。	環境保全課
ン調達の推進【再掲】	【環境総務課】 ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 【契約課】 用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。 ※別添資料→43ページ	環境総務課
④ 海外交流都市との情 報交換	各海外交流都市担当者との情報交換や、ホームページ等をとおして情報収集に努めた。	企画調整課

# (2) 地球温暖化の防止

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
① 温暖化対策実行計 画の推進・見直し	・エコあきた行動計画に基づき、市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の削減に努めた。 平成26年度の排出量 123,741t-CO <sub>2</sub> (平成24年度比5.0%減) ・秋田市地球温暖化対策実行計画に基づき、本市事務事業および市民、市内事業者等に対し、地球温暖化対策を総合的に推進した。 ・秋田市地球温暖化対策実行計画の見直しのため、市民・事業者に対するアンケート調査を実施したほか、市域における温室効果ガス排出量の将来推計を行った。	環境総務課
② 市民版ISOの推進	・各種啓発イベントでeー市民認定システムへの参加を呼びかけた。 ・情報紙「eー市民だより」を隔月発行し、市民への配布および公共施設への設置等により、ごみ減量、省エネ等に関する取組の啓発を行った。	環境総務課
③ 低公害車導入·普及 【再掲】	市民・事業者に率先して、公用車への低公害車導入を推進した。 ※別添資料→41ページ	環境総務課
④ エコドライブの推進 【再掲】	エコドライブ講習会を開催した。 ・日 時 平成26年5月24日(土)、10月4日(土) ・場 所 秋田県警察運転免許センター ・参加者数 38名	環境総務課
⑤ グリーン購入・グリーン調達の推進【再掲】	【環境総務課】 ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 【契約課】 用品調達基金により購入している事務用品については、グリーン購入法適合品とした。 ※別添資料→43ページ	環境総務課

取組名	26年度の取組実績	担当課所室
	本市の環境立市を具現化する行動として認証・発行したオフセット・クレジット(J-VER)販売を促進し収益化を図るとともに、これで得た収益を活用した事業を実施することにより、持続可能な森林経営、森林整備の促進、市民に対する環境・地球温暖化対策の意識啓発を図った。 ・オフセット・クレジット制度活用推進経費 オフセット・クレジット 販売可能量 6,466t-CO <sub>2</sub> 販 売 量 16t-CO <sub>2</sub>	農地森林整備課
	センサーを設置するなど、市役所のエネルギー使用状況の可視化を行い、エネルギー削減に努めた。結果、センサー設置施設では、平成 23年度比5.6%削減を達成した。	環境総務課
⑧ 地域ESCO事業の導 入【再掲】	平成24年度に省エネルギー改修等を行った市有4施設についてESCO事業を継続して実施した。	環境総務課

#### 別添資料「低公害車導入·普及」関係(P9、P39)

平成26年度 秋田市役所の低公害車等保有・購入台数状況

		貨物目	]動車	乗合	·乗用	軽自	動車	特殊自	動者等	合	計
		保有台数	購入台数								
	低公害車以外	50	1	43	1	43	5	248	5	384	12
	燃料電池	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電気	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
	天然ガス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メタノール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
低	ハイブリッド	1	0	18	6	0	0	2	0	21	6
公 害 車	H17☆☆☆☆&低燃費	2	0	52	2	32	10	26	0	112	12
害	H17☆☆☆&低燃費	7	0	13	1	32	5	2	1	54	7
車	H12☆☆☆&低燃費	1	0	8	0	0	0	1	0	10	0
	H12☆☆&低燃費	2	0	0	0	8	0	4	0	14	0
	H12☆&低燃費	5	0	9	0	5	0	0	0	19	0
	水素	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プラグインハイブリッド自動車	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
	合計	68	1	144	10	122	20	283	6	617	37

<sup>※</sup>購入台数は、26年度中に購入した車の台数

<sup>※</sup>保有台数は、購入台数を含む総数

#### 別添資料 「太平山自然学習センター運営事業」関係(P13、P35)

	事業名	主な内容	期日等	対象等	人数
学校教育	○宿泊利用	○野外活動(テント設営、野外炊飯、オリエン テーリング、キャンプファイヤー、登山)	5/7	77校	5,659人
	○日帰り利用	○自然観察(動植物の観察、天体観測) ○創作活動(クラフトづくり)		1校	7人
利用		計		78校	5,666人
_	宿泊利用	○野外活動(テント設営、野外炊飯、オリエン テーリング、キャンプファイヤー、登山)	4/1	33団体	1,100人
般 利	日帰り利用	○自然観察(動植物の観察、天体観測) ○創作活動(クラフトづくり)	~3/31	25団体	907人
用		<b>=</b> +		58団体	2,007人
	まんたらめ 春のファミリーハイキング	リゾート公園内ハイキング	4/26	家族	22人
主催	まんたらめ 太平山奥岳登山	太平山奥岳登頂、宿泊体験	6/28 ~29	一般	7人
	まんたらめ 夏のファミリーキャンプ	テント設営体験、バングークラフト作り	7/12 ∼13	家族	30人
	まんたらめ チャレンジキャンプ	太平山奥岳登山、野外炊飯、テント泊、バームクーヘン作り	8/8 ~10	小学5· 6年生	15人
	まんたらめ ちびっこキャンプ	花公園ハイキング、妙見山登山、木の実・木の葉のクラフト、きりたんぽ作り	10/11 ~12	小学1· 2年生	24人
	まんたらめ ダッチオーブン料理	ダッチオーブン料理	10/19	一般	12人
事業	まんたらめ 秋のファミリーキャンプ	紅葉ハイキング、草木染め体験、ピザ作り	10/ 25 ~26	家族	22人
	まんたらめ 中学生交流キャンプ	スノーシュー体験活動、やきいも作り、意見交流会、	12/13 ~14	中学1· 2年生	14人
	まんたらめ ウィンターキャンプ	うどん打ち、館内テント泊、スノーキャンドル作り、スノーシュー体験、餅つき体験	$1/6$ $\sim 7$	小学3· 4年生	30人
	まんたらめ スノーウォーキング	スノーシューでトレッキング	1/25	一般	11人
	まんたらめ 冬のファミリーキャンプ	スキー教室、スノーキャンドル作り、餅つき体験	2/7 ~8	家族	27人
			214人		
	その他	学校利用説明会、ボランティア等			239人

#### 別添資料

「エコオフィスの推進」関係 (P27) 「グリーン購入・グリーン調達の推進」関係 (P25、P28、P39)

#### 秋田市役所環境配慮行動計画(エコあきた行動計画)の取組実績について

本市では、地球温暖化対策の推進に関する法律(平成10年法律第117号)および環境基本条例(平成11年秋田市条例第15号)等に基づき、秋田市役所環境配慮行動計画を策定し、自らの事務事業における燃料使用量等を、平成24年度を基準として、平成28年度までの4年間で4%以上、かつ毎年、対前年度比1%以上の削減を目標として取り組んでいます。

#### 1 エネルギー等の使用状況

前年度に比べ、冷暖房に使用するガスの使用量が増加している。そのほかの項目については減少している。

#### (1) 実績値

年度 項目	H24年度	H 2 5年度	H26年度	
電気使用量	68,412 千kwh	66,366 千kwh	63,707 千 kwh	
ガス使用量	2,417 千m3	2,484 千m3	2, 544 <b>←</b> m 3	
灯油・重油使用量	4,073 kl	4, 430 kl	4, 227 kl	
公用車燃料使用量	516 kl	478 kl	443 kl	
水道使用量	693 ∓m 3	635 ∓m 3	626 千m 3	
ごみ排出量	1,734 t	1,605 t	1,434 t	
コピー用紙使用量	63, 258 千枚	63.785 千枚	57,815 千枚	
【参考】電気料金	1,327,102 千円	1,452,965 千円	1,595,769 千円	

#### (2) 比較

年度項目	前年度比 (目標1%以上)	H 2 4年度比 (目標平成 2 8年度まで に 4 %以上)
電気使用量	<b>▲</b> 4. 2 %	<b>▲</b> 7. 4 %
ガス使用量	2. 3 %	5. 0 %
灯油・重油使用量	<b>▲</b> 4.8 %	3. 6 %
公用車燃料使用量	<b>▲</b> 7. 9 %	<b>▲</b> 16.6 %
ごみ排出量	<b>▲</b> 11.9 %	<b>▲</b> 20.9 %
水道使用量	<b>▲</b> 1. 6 %	<b>▲</b> 10.7%
コピー用紙使用量	<b>▲</b> 8. 7 %	<b>▲</b> 9. 4 %
【参考】電気料金	9.8%	20.2%

#### 2 温室効果ガス排出量

灯油・重油使用量の増加により、昨年同期比で1.0%増加した。

#### (1) 実績値

年度 項目	H24年度	H 2 5年度	H26年度
温室効果ガス排出量	129,983 t-C02	131,260 t-C02	123, 741 t-C02

#### (2) 比較

年度 項目	前年度比 (目標1%以上)	H24年度比 (目標平成28年度まで に4%以上)
温室効果ガス排出量	<b>▲</b> 6. 1 %	<b>▲</b> 5. 0 %

#### 3 環境配慮物品調達 (グリーン物品調達)

グリーン購入調達目標を設定している5品目に対し、3品目において目標を達成した。

特定調達品目	調達目標	調達率	達成の可否	
紙類	95 %	97.7%	0	
文具類	90 %	92.2%	0	
OA機器	95 %	94.8%	×	
照明	70 %	73.6%	0	
制服・作業服	95 %	86.7%	×	